

絵になる風景を見つけたら写真に撮ってみよう!

何気ない日常のひとコマも切り取り方次第で素敵な風景に。撮った写真は自分だけの写真集にしたり、SNSで家族や友人、市内外の人と共有したり、楽しみ方はいろいろです。今号ではまち歩きの達人・小倉城庭園館長中川さん、プロカメラマン・吉永さんと小倉城周辺を歩いてみました。

撮影指南役
プロカメラマン
吉永 真利江さん



小倉城庭園館長
案内する人
中川 康文さん

広報課
左方 祐美子 主査
散策する人

撮影のマナーを守りましょう ● 他人の顔が写り込まないようにする。 ● その場所や建物、イベントなどが撮影を許可しているかどうか、事前に確認する。など



撮影ワンポイントレッスン

小倉城庭園・城見テラスからの小倉城

小倉城の全景を“ひとり占め”できる、穴場スポットです。白壁の向こうには青空に浮かび上がる天守閣。この迫力を体感してください。

※「城見テラス」は小倉城庭園内の「展示ゾーン」内にあります(庭園への入場は有料)。

吉永 建物を撮るときは、空や緑など周りのものも意識してバランスよく構図に入れてみましょう。



←こんな発見も
石垣のある一角に積まれた白い岩。「忍者」に見えると話題です。

ここもおすすめ→

小倉城庭園内にある無料スペース(※)は、知る人ぞ知る小倉城映えスポット。池に映る“逆さ小倉城”がポイント。(※)紫川側入口から入ることができます。



アートな景色が広がる勝山公園

海底をイメージした砂場や動物を形どった遊具が絵画のようにまことうまく融合しています。1周するとアート巡りした気分。

撮影ワンポイントレッスン

吉永 足元にあるものを撮るときは、しゃがむなどカメラアングルを低くしましょう。



おすすめはくじらの骨!

誰の足跡?→

動物の足型です。ちゃんと到津の森公園の動物たちから取っているんですよ。



↑かわいらしいシマウマの遊具



↑モザイク柄のベンチに転がるドングリ

左方 お勧めの場所やとっておきの1枚は、情報発信することで、まちへの関心やシビックプライド(郷土愛)を高めることにもつながりますね。



↑鳥町食道街

ふらっと歩くと面白い! 大通りや路地裏

市内にいくつもある商店街や飲食店街などの大通りや路地裏。どの道を通っても見方次第で新たな発見があり、まち歩きの楽しさを気づかせてくれます。

中川館長コメント

小倉の街は歴史ある老舗と、新しくオープンしたカフェなどの店が共存し、まちの活力を作り上げています。小倉に限らず、市内の各エリアでは、新しい店やスポットなども続々と誕生しています。皆さんもまちを歩いて、未知の魅力を探してみてください。



←太陽の橋にあるオブジェ



↑市内にあるデザインマンホールふたの一つ

市公式Instagram「好きっちゃ北九州」

皆さんが撮影した市の魅力あふれる写真を紹介しています。詳しくは、市ホームページ(右記を読み取り)でご確認いただけます。

市公式Instagram「好きっちゃ北九州」はコチラ▶



この特集に関するお問い合わせ
広報室広報課 ☎582・2236